

第8回竜王町総合計画審議会 会議録

日時：令和3年2月10日（水）19：00～20：55

場所：竜王町防災センター 2階大会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

- ・基本構想（案）について
- ・基本計画（案）について

4 その他

5 閉 会

【出席委員】

市岡、井手、勝見、北村、瀧川、谷、谷口、谷村、西村悠哉、西村三代司、松瀬、竹井、森島、石橋、吉田

※敬称略、順不同

1 開会

事 務 局：こんばんは。第8回竜王町総合計画審議会を始めます。第8回審議会へのご出席いただきありがとうございます。

2 挨拶

事 務 局：杼木副町長が欠席のため、市田総務主監よりご挨拶いたします。

総務主監：こんばんは。本日もお忙しい中、出席いただきありがとうございます。コロナについては、県内で感染者、死者がでていますが、注意ステージに引き下げていく動きもあります。ワクチン接種について、市町の調査をしたところ、医師や看護師の確保が難しいという状況が見られます。2月下旬からのワクチン接種に向けた体制づくりを町も県全体でも取り組んでいます。本日はパブリックコメント結果の報告と、基本構想、基本計画を含めて全体的にご意見をよろしくお願いします。

事 務 局：ありがとうございます。続きまして、西村会長からご挨拶いただきます。

会 長：こんばんは。第8回目、夕刻の会議に出席いただきありがとうございます。次回 17 日に答申を予定していますので。今日がご意見をうかがう最終回になると思いますのでよろしくお願いします。

事 務 局：本日はこれまでの議論を受けての修正の概要と、後半は基本計画の施策について説明に時間をいただきたいと思います。ご意見シートもつけていますので、この場で見切れない部分はそちらでいただければと思います。それでは議事に移ります。進行は会長にお願いします。

3 議事

基本構想（案）について

【事務局より、資料に基づき説明した】

会 長：ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

瀧川委員：25 ページの下線部について、下線の始まりはどこからですか。

事 務 局：「まちの」から全部です。

事 務 局：都市構造図について、防災の将来イメージとして日野川を現在より緩やかに描いています。また、拠点連携軸について、集落内を通らないようにバイパス化しています。

井手委員：28、29 ページの人口減少抑制のところについて、人口が減少する予想から何を行うことで抑制をするのか、基本計画のくくりには対応していないのでしょうか。

事 務 局：具体的な取組がどこにつながるかということでしょうか。

井手委員：つながりが見えれば親切かと思う。

事 務 局：多岐にわたりますが、例えば基本施策 11 は自然動態の改善につながるなど、関連づけは工夫します。

森島委員：将来人口の見通しについて、11,000 人、10,000 人というのは、こんなもので良いのでしょうか。無難な計画に見えます。政策との関連はあるのでしょうか。竜王町はどうあるべきかが見えません。

事 務 局：将来の人口を考える時に、何人いれば維持できるかというのは難しいもので、例えば 8,000 人になったら維持できないということでもありません。高齢者のみの世帯

も増えてきて、自助の力が落ちているし、地域の共助もそうです。町民の暮らしの維持を考えると人数規模だけでは示しづらいため、生産年齢人口の割合を追加しました。10,000 人という一つの目安となる目標と、生産年齢人口を増やしていくという合わせ技の位置づけにしたいと考えています。

森島委員：20,000 人にすればよいということでもありませんし、目指す姿として、年齢構成のバランスを良くすることなど、そういうことを書き込んだ方が良いと思います。

会 長：前は 14,000 人と大きくでていました。

松瀬委員：数字はあくまで目標で、今回大事なのは「若者」だと思います。竜王町の良さをアピールして、町外から町内に移り住んでもらう。流出を防ぐのは地域のつながりが大事です。数字が取組と関連するかはわからないことです。あまり数字にこだわらなくても良いと思います。

事 務 局：人口だけではなく、人口構造についても検討していきたいと考えています。

勝見委員：26 ページの 5 G、SDGs に注釈を入れていますが、AI にもあった方が良いと思います。

事 務 局：それに限らず、仕上げの段階では注釈が必要な言葉を洗い出し、子ども、高齢者でもわかりやすいようにします。

石橋委員：26 ページの姿勢について、「若者も暮らすための・・・」に下線がありますが、これがチャレンジのことでしょうか。難しいとは思いますが、これが心が弾むチャレンジなんでしょうか。回答できるようにしておいたほうが良いと思います。

事 務 局：市街化編入は長年の課題で、行政にとってのチャレンジだと考えています。

石橋委員：町民にも理解してもらえるチャレンジが無ければいけません。31 ページの②、小学校跡地の活用について、計画はいつできたのですか。

事 務 局：3 年前から計画し、2025 年 4 月には新小学校を開校予定です。その後に市街化編入し、住宅地として有効活用する考えです。

石橋委員：7 年かかるということですが、この 10 年の間にはできることです。それ以上にエリアを拡げていくのであればチャレンジだと思います。

事 務 局：新しくつくる住宅団地は間の 2ha を含めて市街化していく予定です。ここにはスマートタウンやカーボンニュートラルなどの考え方を取り入れていくことで、若い人

にとっての魅力をつくっていくという考えも必要だと考えています。

石橋委員：ウイルス除去とかエネルギーを使わないということも考えられます。

事務局：住宅地、小学校、園、平和堂のエリアを含めてまちの魅力にしていきたいと考えています。

石橋委員：新しい小学校にはいろいろと機能をそろえても良いと思います。

事務局：給食センターについて、運搬を自動運転にするなども考えています。

石橋委員：市街化編入は手段です。心が弾む取組が必要です。

谷村委員：前回の計画には市街化調整区域の見直しはありませんでした。市街化編入が計画に入ってくるのが第１歩だと思います。手段かもしれませんが言葉としてはあった方が良くと思います。地図がでてきましたが、町民が見た時に、道をたくさんつくるように見えるのではないのでしょうか。河川の改修の方が大きな課題です。

事務局：国道８号のバイパス化は国、県に訴えていくものとして、１０年後には完成していなくても画は描けていると思います。日野川についても緩やかにしたラインを引いていく１０年間になると思います。

谷村委員：コメントを入れても良いのではないのでしょうか。

吉田委員：新生活拠点について、具体的な説明をお願いします。

事務局：一番北側のものはＩＢＭ跡地です。山面工業団地のところは須恵の町有地。その右下は鶴川グラウンド跡地。ＩＣの上は松が丘の集合住宅周辺にもう少し土地がある場所です。アグリパークの上は白地になっているところで可能性があります。

市岡委員：複合ゾーンの医療施設は、商業ゾーンのものとは違うのですか。

事務局：複合ゾーンは平和堂の裏から鶴川方面の信号のところまでで、現在まかないきれていない生活利便施設をこのエリアに整備していくイメージです。

市岡委員：商業ゾーンと同じようなものを整備するのですか。

事務局：眼科などが当てはまります。

市岡委員：ないものをつくるという意味ですか。

事務局：生活が豊かになるものを呼び込むことが大事だと考えています。

会長：この辺で基本計画の説明をお願いします。

事務局：基本計画（案）について説明した。

会長：現時点で質問があればお願いします。

井手委員：重点プロジェクトについて、分野別にクロスしたのは工夫だと思いますが、説明文の最後が「〇〇まちを目指します」で終わっています。「〇〇を目指して■■■をやります」という書きぶりにすべきだと思います。

事務局：表現について工夫します。

谷村委員：縦割り感をなくすため、抱き合わせにすることで複雑になったように感じます。町民が理解できるでしょうか。

瀧川委員：「子」「生産」「高」はどういう意味ですか。

事務局：ターゲットを示すもので、「子ども」「生産年齢人口」「高齢者」のことです。説明書きを追加します。

瀧川委員：表示がなくてもターゲットはわかるので、いらないのではないのでしょうか。

吉田委員：69 ページの不登校率が下がっていく目標は古い考え方で、国からも通知がでているので修正してください。不登校にならない支援ではなく、なっても戻れるとか、楽しく暮らせるという配慮した表現にしてほしいです。

事務局：十分に配慮するように検討します。「希望をかなえる」ということにつながる施策にしていきます。

吉田委員：竜王町にはフリースクールやフリースペースなど、不登校の子が行く場所がありません。

谷委員：この基本計画は Society4.0 ベースだと感じます。クラウド商店街とか A I の活用、タブレットの全戸配布など、5 G に対応することで若い人が移住するまちにしていかなければいけません。

瀧川委員：自動運転が進むと予測されますので、ダイハツがあることを活かして、それを取り入れやすいまちづくりをしてはどうでしょうか。情報発信についても庁内にデジタル化に関する部署を設けても良いと思います。男女参画に関する表現も弱いのではないのでしょうか。

谷口委員：基本施策 27 の先端技術についてはバランスが悪いと思います。行政のオンライン化がメインになっています。住民向けの情報系インフラが整備されれば、他の事業にも活用できます。情報の扱い方を検討して下さい。健康体操をユーチューブで配信するとか、ニーズに沿った情報発信もできます。すでに端末を持っている人は多いので、力を入れてほしいと思います。

井手委員：今回の基本計画は 5 年計画で、後期計画の時には状況も変わっていることもあると思います。

谷口委員：先端技術にはどんなものがあるか言及し、厚みを持たせて下さい。

事務局：Society4.0 でできているというご指摘は、今の仕事のやり方がそのまま記載されているからだと思います。もう少し先を見て考えていかなければいけません。5 G も 5 年後には整備されていると思います。

谷村委員：民間の力を借りないと、農業、観光、文化、歴史にしても竜王町だけでやるのは難しいと思います。チョイソコが近江八幡まで行くとか、そういう関わりを持って行かないといけません。新名神には竜王を紹介する案内はなく、竜王にも甲賀方面の案内はありません。

事務局：総合病院がないため、近江八幡、野洲に行っている状況です。そのあたりを含めて広域連携については補強します。

勝見委員：指標について項目にそぐわないものがあるので見直して下さい。場合によっては指標を削除しても良いと思います。重点プロジェクトでターゲットを設定するのは個人的には重要だと思いますが、年齢だけで区切るものではなく、町内、町外の区分や子育て世代も年代では区切れませんので、増やしても良いと思います。情報を増やすとわかりづらくなるので、項目によって強弱をつけても良いと思います。

事務局：バランスは考えていきます。

市岡委員：指標が入っていないものもありますが、特定健診受診率とか出生数とか興味があります。63 ページのホームページアクセス件数は下がっていく目標になっていますがどうのことですか。

事務局：令和2年度はコロナの影響により情報を確認する人が多かったため、アクセス数が通常と異なる数値となっています。目標設定については工夫します。

市岡委員：55 ページの現状ゼロ、目標ゼロなら書かなくてもよいのではないのでしょうか。

事務局：特定空き家はつぶれそうな危険な空き家のことです。将来的に空き家が増加していくおそれがありますが、特定空き家を発生させないというイメージでゼロを続けることを目標としています。わかりやすく工夫します。

北村委員：注釈が必要だと思います。

森島委員：10 年間の構想と5年間の計画にギャップが生まれているように感じます。心が弾むチャレンジをしていく、デジタルの活用などの内容も必要です。

事務局：基本計画について中身が今の発想になっていますので、若者の視点で再度検討します。

井手委員：各課の問題意識が出ていますと思います。10 年の構想を踏まえて考えて下さい。

石橋委員：1 年後に振り返りを行うのですか。

事務局：基本計画の下に置く実施計画に基づき1年ごとに振り返りを行います。

石橋委員：結果を共有するのですか。

事務局：庁内で評価した上で、審議会で確認いただきます。

石橋委員：5 年サイクルでは長いと思います。施策部分は冊子になるときは見開きですか。

事務局：そうです。

会長：時間もせまってきました。意見が出せなかった人はシートに書いて提出して下さい。

谷村委員：来週で答申して議会にあげていくのですか。

事務局：来週答申をいただけるのであれば、そのあと精査して町として議会に上程し、基本

構想部分を3月議会で審議していただき、3月25日に議決をいただく予定です。基本計画は議決事項ではありませんので随時見直しをしていきます。構想、計画がまとまった後、冊子にするのは夏前後までかかると思いますが、内容は4月1日までに完成する予定です。

会 長：この辺りで終了します。来週の審議会では答申を出したいと思います。

4 その他

事務局：本日の意見を踏まえ、来週もう一度修正するのを前提として、議会にも審議会意見は反映できたものとして説明します。

事務局：たくさんの意見、アドバイスをいただきありがとうございました。

5 閉会

副会長：お疲れさまでした。本日も活発な意見ありがとうございました。今までよりも胆になる議論だったかと思います。帰ってからもう一度確認いただき、意見があればシート提出をお願いします。